

参 考 资 料

民間との協働講座【新規】 ～官民協働による地域課題解決に向けて～

研修のねらい

地域課題の解決のためには、行政だけではなく、民間と一緒に考え、行動することが必要になってきています。地域課題解決に向けた民間の方々と検討、議論を通じ、民間の見方、考え方、仕事の進め方等を学びます。

対象者

課長級職員

対象者

15 人 ※民間企業15人
計30人

研修期日

平成24年10月9日（火）～10日（水）

2日間

日程表

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	16:00	16:30
1日目	開講 オリ ンテ ーション	基礎講義	討議関連講義	休憩	班別討議		
2日目	班別討議			休憩	発表及び講評		閉講

主な教科の内容等

教科名	方法	教科の内容等
基礎講義	講義	県内の民間企業の現状、地域貢献活動の取り組みや県の行政改革の動き等について
討議関連講義	講義	班別討議のテーマに関連する情報の提供
班別討議	演習	県、民間企業の共通する課題について班別討議、その解決に向けた対応策等の検討
発表及び講評	発表 意見交換	班別で検討した内容について発表・意見交換



○こんな方には是非お勧め！！

発想の転換を図りたい。もっと違った仕事の進め方はないのかとお考えの方

○担当からのセールスポイント

民間のアイデアや力を借りるためには、民間の考え方を理解し、また、行政に何が求められているのかを知る必要があります。県の仕事にも、民間の考え方を取り入れて行けば。きっと……

行政課題研究講座《合同》

研修のねらい

当面する行政課題について、若手の市町村職員と県職員が主体的に調査・研究・提言及び報告を行うことにより、政策形成能力をはじめとした幅広い能力の向上を図ります。

特に研修生自らが自由に研究テーマを選んで研究を進めることにより、職員の発想や自主性を活かすとともに、地域性を加味し現実的な政策の提案を行います。

対象者

非役付職員
(県職員と合同研修)

計画人員

12 人

期 日

(1・2日目) 平成25年 9月 5日(木)～6日(金)
 (3日目) 平成25年 9月25日(水)
 (4日目) 任意(所外研修) 6日
 (5日目) 平成25年11月13日(水)
 (6日目) 平成25年12月19日(木)

日程表

予定講師：学識経験者

	9:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:30
1日目		開講 OR	政策形成理論 (講義)	休憩		政策形成理論 (講義)			
2日目	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	16:30
		グループ研究 (テーマ設定助言指導)		休憩	グループ研究 (テーマ設定助言指導)				
3日目		グループ研究		休憩	グループ研究・中間報告 (企画内容助言指導)				
4日目		テーマ関係調査等							
5日目		グループ研究		休憩	グループ研究 (提言助言指導)				
6日目		グループ研究 (発表準備)		休憩	研究発表会			閉講	

受講生の声

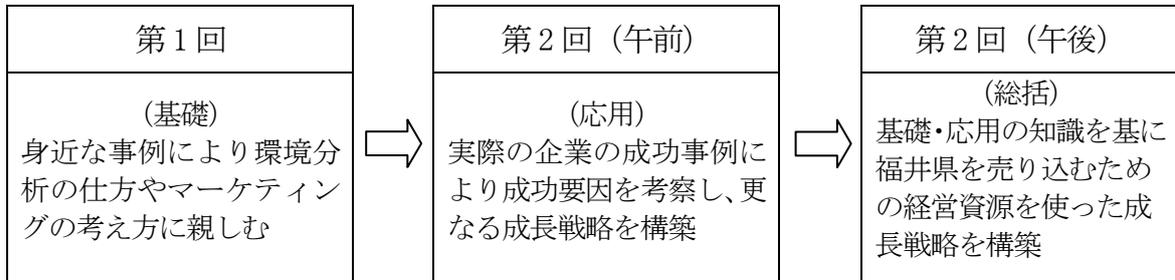
- 政策を構成するまでの流れを分かり易く説明してもらえた。
- 現状を把握し、問題点を整理して解決策を導くという流れは、日々の業務の改善にも繋がるので、日頃から意識したい。
- 県や市町村職員の方々と意見交換が出来て、充実した研修だった。

平成 24 年度 営業力向上研修（マーケティング）

【目 的】

情報を読み取り、住民満足につながる一步先に行く政策を実現するため、ケースを使い、環境変化に対応し成長するため、グループ演習により多面的な考えを示し、より実効性あるマーケティング戦略を練るトレーニングを行う。

【流れと内容】



日 程	テ ー マ ・ 内 容
9月4日（火） 13：30～16：30	第1回 「マーケティングの考え方・基本を学ぶ」（基礎） 使用ケース：「オレボステーション北鯖江」 ・北陸自動車道 PA 内で、初の 24 時間営業のコンビニエンスストア。 ・訪問客はサラリーマン、家族連れ、団体客、作業員等様々。 ・どんな客層をターゲットとして、それに対し、どんな方策を講じるべきか考える。
9月18日（火） 09：00～12：00 13：00～16：00	第2回 （午前）「民間企業のマーケティング戦略の実際」（応用） 使用ケース：「エムケイ㈱」 ・過当競争業界で、自社のサービスをどうデザインし、他社と差別化したかを考察する。また、さらに飛躍するための市場への仕掛けを考える。 （午後）「福井県のマーケティング戦略を考える」（総括） 使用ケース：「南青山291」 ・既存の施設を核にして、東京（関東）で、福井県を売り込むための戦略を構築する。

【会 場】 県庁 2 階中会議室（第 1 回）、6 階大会議室（第 2 回）

【対 象】 県・市町の職員 【20名】

【講 師】 株式会社大津屋 代表取締役社長 小川 明彦 氏

創業天正元年（1573）の造り酒屋の 29 代目。昭和 53 年慶應義塾大学商学部卒。

昭和 56 年に福井県初の CVS 「オレンジBOXおおつや」開店。

平成 13 年慶應義塾大学ケースメソッド教授法を修める。「オレボ・ビズスクール」

を毎年開講。講師としても活躍中。スクールでは、「トップマネジメント」「ビジ

ネスリーダー」「マーケティング」「クリティカルシンキング」等の各セミナーを実施。

今回の研修でも取り入れる「ケースメソッド」教育は、受講者が当事者の立場で意思決定を行い、他者の意見を聴きながら幅広い視点を身につけ、経営に必要な総合力、洞察力、戦略力を鍛えるもので、県内の企業や教育機関を中心に多数の受講実績がある。



「営業力向上研修」(実践編:事後研修)の実施要領

実践編

1 研修の趣旨

「営業実践! ~現状分析・営業行動計画立案そして実践活動~」

若手職員が県の博物館等の集客率を向上させるための行動計画案を考え、自ら活動することを通じ、実践的な営業力を修得する。

2 研修対象者と研修単位

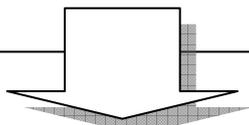
- ・ 25歳の全職員(看護師、助産師、医師等除く) 68名
- ※ 1グループ6名を基本としたグループを編成(男女・職種混成 12グループ)

3 研修対象施設

歴史博物館、美術館、若狭歴史民俗資料館、一乗谷朝倉氏遺跡資料館から各グループで1箇所選択

4 研修概要

- ・ 各グループで選択した研修対象施設の職員の協力を得ながら、利用状況の把握や利用者の聴き取り調査等を実施
- ・ 誰をターゲット(年齢・地域)にどのように集客率を向上させるかという行動計画案を作成
- ・ 行動計画案に基づき、自分たちで活動を行った後、その成果を分析し、報告



事後研修

- 1 実施日:平成24年12月20日(木) 13:30~16:30
- 2 場 所:県庁 正庁
- 3 対象者:上記「実践編」対象者
- 4 概 要:
 - ・ 各グループごとに、上記「実践編」で行った営業行動内容を報告。
 - ・ 実施した内容の、弱点や要改善点などを振り返る。
 - ・ 他のグループの営業活動内容を知ることにより、自分のグループと比較
- 5 その他:
 - ・ 各自レポート(様式1)を提出すること。
 - ・ 各グループごとに、報告資料(資料2)を提出すること。
 - ・ 発表資料作成は業務命令扱いとする。

若手職員発案！

ナイトミュージアム

～月の光が集まる美術館～

IN 県立美術館



10/19
(金曜日)
17:00
～20:00



土屋公雄展 開催中

土屋公雄(つちや・きみお)は、1955年福井市生まれの彫刻家、環境造形アーティストです。朝倉文夫賞、現代日本彫刻展大賞などを受賞し、サンパウロビエンナーレに 選出されるなど、本県出身の美術家として近年最も評価の高い作家の一人です。本展覧会では、作家の円熟期をとらえ、福井の記憶や風土を盛り込みながら、これまでの集大成を、美術館全館を使った大規模な新作インスタレーションとして展開します。

福井駅からはコミュニティバスすまいるが便利です。

コミュニティバスすまいる：JR福井駅前(西口)、「駅前商店街」

または「福井駅北」のりばより、田原・文京方面線にて約10分。

県立美術館前 下車、徒歩0分。

京福バス：JR福井駅前(西口)、10番のりばより、26系統・福井総合病院線にて約10分。藤島高校前にて下車、徒歩0分。

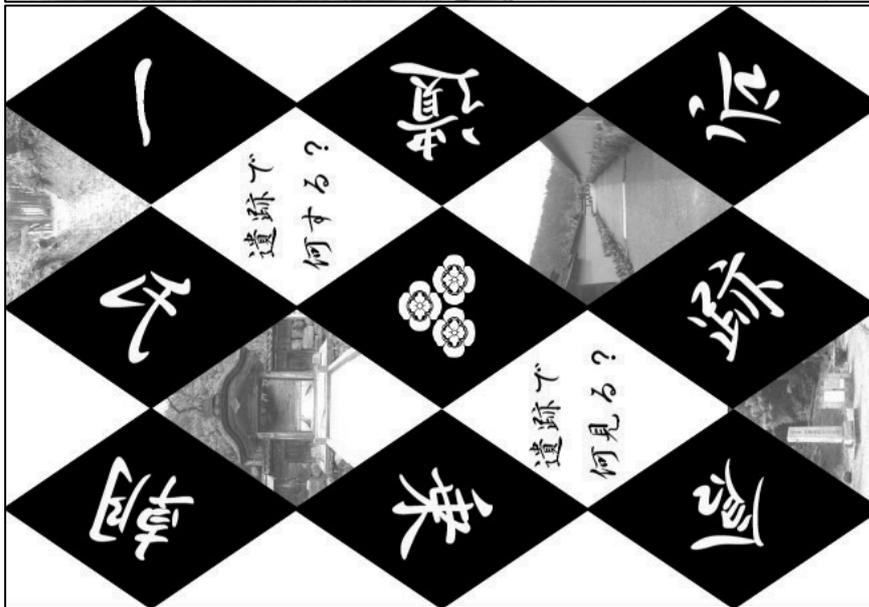
福井県福井市文京3丁目16-1 一般: 800円 大高生: 500円 中小生: 300円

1日限りの夜の美術館

仕事帰りにいかがですか？



実施内容



一乗谷朝倉氏遺跡の歴史
 一乗谷は、福井市街の東南約10kmに位置し、足羽川
 平野の一乗谷川の一小谷です。今は、見渡す限り緑が広がりが
 川が流れ、空が見えるだけ、あとは何も無い場所かもしれま
 せん。しかし、さかのぼることわずか500年、当時のこの
 場所は、越前の国を支配した戦国大名・朝倉氏のお膝元、武
 器屋敷、寺社、染物屋をはじめ、数珠作り、塗師、塗壁師、
 ちかかぎややかに暮らしが盛んな城下町でした。
 そして、戦乱の世の中でも、この一乗谷は平和を保ち、華や
 都からは公家や学者、匠者、僧侶など、文化人が訪れ、華や
 かな文化と開花させていきました。
 そんなに5代103年間に戦国大名を築いた一乗谷の城下町
 ですが、1573年に織田信長との戦いに敗れ、火と放たれ
 た城下町は三日三晩燃え続け、城下町は灰塵に帰りました。
 一万人の大都市の時と巡る遺跡散策プラン！
 四百年の時と巡る遺跡散策プラン！

実施日 : 平成24年11月3日(土)戦国あさくら市
実施内容 : 資料館を含む遺跡の周遊プランをイ
 ベントの来場者にPRした。
 また観光客の意識調査、営業行動の
 評価のため、アンケートを実施した。

① 一乗谷朝倉氏遺跡資料館
 一乗谷朝倉氏遺跡の歴史を学ぶことができます。資料館には、朝倉氏に関する資料や、当時の生活の様子を再現した展示があります。

② 下城分跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。下城分跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

③ 土城分跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。土城分跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

④ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑤ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑥ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑦ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑧ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑨ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

⑩ 山城跡
 朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町。山城跡は、朝倉氏の城下町を築いた一乗谷の城下町の一部です。

○表紙はインパクトを、地図は見やすさを重視した

メディア対応研修（関西広域連合広域職員研修局・府県連携型研修）

1 ねらい

行政がメディア（特にテレビ・メディア）と関わる機会が増加しつつあることから、パブリシティとしてのメディアの利用方法を学び、取材対応能力を養成します。

なお、本研修は、関西広域連合広域職員研修局として実施する「府県連携型研修」にも位置付け、関係府県の職員を受け入れることとしています。

2 対象者

和歌山県職員

関西広域連合広域職員研修分野に参加している府県の職員（合計約30名）

3 日程

（第1回目） 平成24年 9月26日（水）、27日（木）

（第2回目） 12月19日（水）、20日（木）

4 内容

○講義（県職員講師）

「パブリシティの手引き」を用いた和歌山県版メディア対応について

○演習

メディア・リテラシー（読み書き能力）を理解し、メディアを介した情報発信力と、メディア対応能力を中心に、職場活用性を高めるための講義と表現トレーニングを行う。

- ・パブリシティのノウハウ
- ・広報的なものの取材対応スキル
- ・事件事故発生時のメディア対応のノウハウ

5 講師

- ・財団法人NHK放送研修センター専門委員 岡部 晃彦 氏
- ・県職員講師（広報課）

受講生の感想（抜粋）



・今回、広域連合関連で、他府県からの参加者もあり、情報交換もできてよかったです。特に、今回のような研修を行っていない県もあるということで、本県の研修制度が、内容や実施規模などから、とても有意義であると改めて思いました。

・実践的な内容が多く、大変勉強になりました。職場に持ち帰り仕事に役立てるとともに、同僚にも広めたいと感じました。

・このメディア対応研修は特にユニークだったと思います。カメラの前で話すことで客観的に自分を見ることになり、人前で説明するコツを掴めたと思います。

メディア対応研修

【特徴】

- 受講生全員が講師からの簡単なインタビュー※（動画撮影）に対応し、スクリーンに映して客観視するとともに講師から講評してもらう。時にはインタビューのやり直しをするなど、画面上での写り方、話し方を講師から丁寧に学ぶことができる。

※簡単なインタビュー…講師がアドリブで受講生に尋ねる。

（例）あなたの仕事はということしているのですか？

P.R活動が必要だということですが、具体的に活動はどういったことですか？

- 謝罪会見※（動画撮影）をグループごとに行い、上記同様、スクリーンに映して客観視するとともに講評する。

※謝罪会見…謝罪する側（2，3人）とマスコミ約（2，3人）でグループごとに謝罪テーマを決めマスコミを前に謝罪し、その様子をカメラで撮影する。

（例）職員の飲酒運転による不祥事に対する謝罪

【講師】

財団法人NHK放送研修センター専門委員 岡部 晃彦 氏

【受講者アンケート】

- ビデオ収録、再生等、自分の発言を客観的にみることができよかった。
- カメラを使った講義は斬新であった。
- 撮影による演習で自分を客観的に見ることができた。失敗することで身につく部分が多かった。



プレゼンテーション研修

1 ねらい

プレゼンテーションの基礎的な理論を理解し、発表、説明、説得等の技法を習得します。また、講義と演習を繰り返し行うことで、プレゼンテーションスキルの定着と実践力の向上を図ります。

2 対象者

全職員（各回約30名）

3 日程

（第1回目） 平成24年10月 9日（火）、10日（水）

（第2回目） 11月15日（木）、16日（金）

（第3回目） 平成25年 1月15日（火）、16日（水）

4 内容

○講義

・プレゼンテーションを成功させるコツ、わかりやすい話の組み立て方、「訊く」スキル等

○演習

- ・各自がビデオの前で自己紹介を行い、プレゼンテーションを行う自らの姿を客観視することで課題点を確認する。また、講師が実践的なアドバイスを行う。
- ・グループワーク（ビデオ撮影で明確になった課題や講義内容を踏まえ、ロールプレイング形式によりチーム内でプレゼンテーションを繰り返し行う。）
- ・プレゼンテーション演習（研修内容を踏まえ、グループ内プレゼンテーションと全体プレゼンテーションを行う。）

5 講師

株式会社インソース 講師 塩谷 登志栄 氏

受講生の感想（抜粋）



- ・実践的な内容で、その場で課題を見つけ改善できたので、効果的な研修であったと感じた。
- ・自分を客観的に見ることがないので、ビデオの利用は大変良かった。すぐに実践できるのが魅力。
- ・講義と実践の部分のバランスが良かったと思います。今後の業務に生かしていきたい。
- ・徐々にステップアップしていく進め方で、良かった。指導がきめ細かく、良い所、悪い所が良く分かり改善できた。また、講師先生の人柄も良く、研修が楽しかった。実践中心という所が大変良かったです。

プレゼンテーション研修

【特徴】

- 1人1分間の自己紹介をカメラの前で行う。
- 講師とグループで、その映像を見ながら良い点、悪い点、良い点といった順序で本人に伝える。
- 講師から、プレゼン時の発声や姿勢、注意点を個人個人に指導する。

【講師】

株式会社インソース 塩谷 登志栄 氏

【受講者アンケート】

- ビデオで自分を確認できた点、先生やメンバーからの意見が聞けた点がよかった。
- ビデオ撮影で自分の話している姿を確認し、問題点を見ることができてよかった。
- 自分の自己紹介をビデオにとって後から見ることで他人からの見た感じがわかりよかった。
- 自分の姿を客観視するという内容がとても良かった。自分の悪い点だけでなく、良い点も指摘してもらえるので自分の特徴を活かしたプレゼンができるようになった。
- テレビモニターを見ながら、講師から個別に指導してくれてよかった。
- ビデオカメラを使った自分のプレゼンを見られたことは貴重で、問題点がよくわかり非常に参考になった。



平成24年度仙台市職員特別研修「新型発想人」養成講座
せんだい大志塾（第3期）

～ **た** てまえ捨てて **い** えす（YES）で発想 **し** よくいんよ大志を抱け！ ～

時代の変化に的確に対応し、前例や従来の枠組みにとらわれない柔軟な発想ができる職員を育成するため、若手職員を対象として平成22年度からスタートした「せんだい大志塾」。

第3期目の開催となる平成24年度は、初めて公募による参加者を含めて実施します。

柔軟な発想力を身につけることによって、問題解決能力や政策形成能力が向上し、震災復興に向けた地域のあり方を自ら考え、決定し、実現していく人材の育成を図ります。

1 内容

仙台市を取り巻く社会状況などをテーマに、グループに分かれて討論を行い、意見の発表・交換、講師からのコメントにより、論理的な考え方や発想力を身につける内容となっています。

また、最終講では、これまでの講義を通して身につけた発想力を基に、受講者自ら設定したテーマでプレゼンテーションを行い、講師、受講者による評価も実施します。

2 日程

平成24年6月から平成25年1月まで毎月1回（午後半日）、計8回開催

（※第1回のみ10：45～）

3 講師

（財）日本経済研究所地域未来研究センター長 傍士 銚太（ほうじ・せんた）氏

（株）日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介（もたに・こうすけ）氏

（株）日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長 大西 達也（おおにし・たつや）氏
（講師のプロフィールは裏面をご覧ください）

4 受講者

局長、区長などの推薦および公募により決定した若手職員24名

（局・区推薦者22名、公募者2名）

5 講座内容

別紙のとおり

裏面につづく

3 昨年度の成果について

昨年度は各局区から19名の職員が参加し、計6回の講義を実施しました。職員や講師からのアンケート結果から、柔軟な発想力を身につけるきっかけを得るとともに、意識改革にも大きな成果があったと考えています。また、局区を横断した職員間のつながりを築けたことも、組織間の連携促進に役立てていけると期待しています。

【平成23年度の活動内容】

	実施概要／テーマ	
第1講	オリエンテーション／開塾にあたって～塾長講話～／師範あいさつ／塾生自己紹介	
第2講	講義，グループ討議，発表	「時代を読む」
第3講		「地方分権」
第4講		「東北の仙台」
第5講	個人プレゼンテーション	「仙台より“愛”をこめて」
第6講		「世界の仙台（SENDAI）」

【講師プロフィール】

◇一般財団法人 日本経済研究所 専務理事 傍士 銑太（ほうじ・せんた）氏

- ・日本開発銀行（現（株）日本政策投資銀行）入行後、フランクフルト首席駐在員を経て、2006年より地域企画部審議役、2009年より現職。
- ・日本プロサッカーリーグ理事、慶應義塾大学大学院非常勤講師、鳥栖市将来像策定アドバイザーなどを務める他、全国各地で講演・講義などを行っている。2006年に登場した自動車の「ご当地ナンバー」提唱者。
- ・著書：「都市のルネッサンスを求めて」、JリーグHPコラム「百年構想のある風景」連載中。

◇（株）日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介（もたに・こうすけ）氏

- ・日本開発銀行（現（株）日本政策投資銀行）入行後、コロンビア大学経営大学院留学、1990年代半ばから地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。
- ・内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」、国交省「社会資本整備審議会」「交通政策審議会」臨時委員など政府関係委員や「東日本復興構想会議検討部会」「宮城県震災復興会議」（専門）委員、本市震災復興アドバイザーを務める他、全国各地で講演・講義などを行っている。
- ・著書：「デフレの正体」「実測！ニッポンの地域力」他多数

◇（株）日本政策投資銀行 地域企画部 地域振興グループ課長 大西 達也（おおにし・たつや）氏

- ・日本開発銀行（現（株）日本政策投資銀行）入行後、フランスパリ高等商科大学派遣、2000年から地域企画業務に携わり、全国各地で地域の課題を分析し可能性を探る「地域づくり健康診断」を実施している。
- ・（財）地域総合整備公団「まちなか再生支援協力委員」、福島県商業まちづくり審議会委員などを務める。
- ・著書：「実践！地域再生の経営戦略～全国62のケースに学ぶ“地域経営”」「実践！地域再生の経営戦略（改訂版）～全国36のケースに学ぶ“地域経営”」他多数

平成24年度仙台市職員特別研修「新型発想人」養成講座 せんだい大志塾（第3期）卒塾式を開催します

時代の変化に的確に対応し、前例や従来 of 枠組みにとらわれない柔軟な発想ができる職員を育成するため、若手職員を対象として平成24年6月から25年1月にわたり行われた「せんだい大志塾」（第3期）の卒塾式を行います。

当日は、卒塾証書の授与のほか、仙台市長も出席し、代表グループによる寸劇を通しての「仙台の課題」発表や、卒塾生それぞれが仙台をどんな街にしていきたいかを宣言する『こういう仙台市にします！』宣言も行います。

1 日時 2月18日（月） 午後4時～5時10分

2 会場 市役所本庁舎2階 第一委員会室

3 式次第

- (1) 開式
- (2) 卒塾生『宣言』
- (3) 卒塾証書授与
- (4) 塾長式辞 副市長 伊藤 敬幹
- (5) 師範（講師）あいさつ 傍士 銚太氏 大西 達也氏
- (6) 寸劇 卒塾生代表グループ
- (7) あいさつ 市長 奥山 恵美子
- (8) 閉式

4 せんだい大志塾

- (1) 塾長 仙台市副市長 伊藤 敬幹（いとう・ゆきもと）
- (2) 師範（講師）
 - （一財）日本経済研究所地域未来研究センター長 傍士 銚太（ほうじ・せんた）氏
 - （株）日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介（もたに・こうすけ）氏
 - （株）日本政策投資銀行地域企画部地域振興グループ課長 大西 達也（おおにし・たつや）氏
- (3) 塾生
 - 局長、区長などの推薦および公募により決定した若手職員24名
 - （局・区推薦者22名、公募者2名）
 - ※せんだい大志塾は平成22年度から実施しています。今回は第3期生となります
- (4) 活動状況
 - 平成24年6月から25年1月までの8カ月間、毎月1回（午後半日）開催しました。
 - ※実施概要・テーマについては裏面をご覧ください

裏面につづく

平成24年度 せんだい大志塾 実施概要

	開催日	実施概要およびテーマ
第1講	6月25日(月)	オリエンテーション、「仙台のここが満足・不満足」
第2講	7月18日(水)	「若者がいなくなる?!学園都市・仙台」
第3講	8月27日(月)	「東北の仙台?仙台の東北?」
第4講	9月24日(月)	「30年後の仙台に車は必要?」
第5講	10月29日(月)	「10年後の仙台を世界にPR」
第6講	11月29日(木)	「塾生が決める市役所改革」
第7講	12月21日(金)	プレゼンテーション(グループ寸劇) 予行演習
第8講	1月28日(月)	塾生プレゼンテーション、オリエンテーション